

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：明日葉保育園長津田園	種別：認可保育所			
代表者氏名：出合 純一	定員（利用人数）：60名（60名）			
所在地：〒226-0027 神奈川県横浜市緑区長津田1-18-11				
TEL：045-507-6611	ホームページ：https://www.ashita-ba.jp/hoiku/nagatsuda/			
【施設・事業所の概要】				
開設年月日 2012年4月1日				
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 あしたばマインド				
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員	10名	
専門職員	園長	1名	主任	1名
	保育士	18名	保育補助	1名
	栄養士	3名	調理員	1名
施設・設備の概要	保育室	6室	トイレ	2箇所
	調理室	1室	事務室	1室
	園庭	あり		

③ 理念・基本方針

<p>◆保育理念</p> <p>「子どもの明日を育み、今日を支える」</p> <p>明日葉の花言葉は「旺盛な活動力」</p> <p>私たちは、子どもが毎日を豊かに過ごせる保育を通じて、明日をたくましく生きる力を育みたいと考えます。</p> <p>そして、子どもの健やかな成長を願うご家庭や地域社会とのコミュニケーションを大切に、より良い今日をサポートします。</p> <p>◆保育方針</p> <p>子どもが、今日を最も良く生き、望ましい「明日」を創り出す力の基礎を培う。</p>
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"><li>・子どものやりたい気持ちを尊重し、子どもたちが安心して生活できるよう家庭的な雰囲気の中で保育している。</li><li>・交流保育や異年齢保育を行い、クラスだけでは得られない思いや助け合う心を育てている。</li><li>・園庭で作物を栽培し、収穫した野菜等を使ってクッキングを行い様々な食材や料理に触れ好き嫌いをなくしていく。また、旬の食材を取り入れ、丁寧に汁を取り、食材それぞれの素材を味わえるようにしている。給食中に栄養士が各テーブルを回り声を掛けている。</li><li>・自然に触れたり身体を沢山動かし、心身共に強い身体を作る。幼児クラスでは持久力をつける取り組みとして、マラソンを行う。</li><li>・集中力をつける取り組みとして習字に触れる。</li><li>・体操、リトミックの講師による体操教室、リトミック教室。</li></ul>
---

- ・防災、防犯、洪水、不審者訓練等、月に1回または不定期に実施し、対策に努めている。
- ・子どもたちが主体となり様々な楽しい行事を実施。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年7月5日（契約日）～ 令和5年3月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 「にやりホッと」の共有により笑顔あふれる温かい保育が行われています  
 日々の子どもの姿や成長に触れる中で、笑顔になる瞬間を大事にする保育をしています。「ヒヤリ・ハット」の事例を収集して事故防止につなげることは、リスクマネジメントの観点でも重要です。一方、園で実践している「ニヤリホッと」の取組では、事例を毎日の昼礼で報告し合い、子どもたちの微笑ましい姿や成長、保育者が感じた嬉しい気持ちを職員間で共有しています。共有した気持ちは、午後からの保育にも反映され、さらに子どもの「ニヤリホッと」を引き出す保育場面にも繋がっています。

2) 環境に配慮した様々な取組が行われています

園では、保育活動の中でSDGsを意識して環境に配慮した取組を進めています。食育の一環で子どもたちが野菜を栽培して、施す肥料は園庭においたコンポストで作っています。保護者が持ち寄ったペットボトル、牛乳パック等の廃材は子どもの制作活動等に有効活用しています。ペットボトルのキャップを集める「エコキャップ運動」にも参加しています。散歩先の公園等でどんぐりの実を集め、銀行に預けることができる「どんぐり銀行」を利用しています。一定額のどんぐりが貯まると数種類の苗木等と交換することができ、交換した苗木を園庭に植栽しています。今後も、交換した苗木を森林での植樹や街の緑化運動に使ってもらおうと考え、取組を進めています。

3) 子どもの主体性を尊重した生活習慣の習得を行っています

子どもの主体性を尊重しながら生活習慣の習得を進めるために年間保健指導計画を作成しています。毎月クラスごとに担任で調整し、5歳児にはイラストを用いて「プライベートゾーンのお話」、3～5歳児に手洗いの歌に合わせてながら・ぶくぶくうがいの練習をする「手洗い・うがいの方法」、目にゴミが入ったらどうするか練習する「目の日」などクラスやテーマを決めて実施しています。

4) 保護者が意見を出しやすい工夫が期待されます

保護者に対して、入園時に苦情解決の仕組みの丁寧な説明や行事・保護者会でアンケートの実施、意見や要望の申し出窓口を受付に掲示、受付奥に意見箱を設置しています。今後は、保護者と園との交流や、苦情記入カードの配布、意見箱の移動等、意見や要望等を申し出しやすい工夫が期待されます。

5) 保育士の自己評価を保育所の自己評価に反映することが期待されます

保育所全体の自己評価は、職員の話し合いの内容を反映して年度末に園長がまとめています。しかし、年度末に作成している保育士一人ひとりの「自己評価表」の項目や内容と、保育所全体の自己評価のつながりが明確ではありません。自己評価様式の改善等の工夫について検討が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保護者の皆さまには、忙しい中アンケートのご協力を頂き、ありがとうございました。改めてお礼申し上げます。皆さまからのご意見をもとに、より良い保育、保育園運営を目指して参ります。

今回の第三者評価の受審に際し、職員一人ひとりが話し合い、参加し、保育園としての評価シートを作り上げる作業を通じて、様々な角度からの視点を持つことができ改めて意識を広げることができました。改めて、まだまだ改善していく点など様々な見直しと気づきの場となりました。

今後も、受審結果を踏まえ、子どもの遊びを中心に置いた保育を展開し、子どもたち一人ひとりのより良い育ち目指して参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり